



アユ情報

第5号

平成28年5月2日
栃木県水産試験場

アユ遡上情報

アユの遡上状況についてお知らせします。

那珂川の状況 (5/2 現在)



- ・茂木地区で、先週に引き続き遡上を確認しました (5/2)。
- ・大田原市寒井地区の矢組堰で 37 尾の天然遡上アユを採捕しました。平均全長は 96mm でした。(5/2)。



矢組堰のようす



採捕された天然遡上アユ

- ・箒川の福原地区 (西ノ原頭首工) で 7 尾の天然遡上アユを採捕しました。平均全長は 89mm でした (5/2)。

< 茂木地区での定期調査結果 >

平成28年				平成27年			
日付	水温	*採捕尾数	平均全長(mm)	日付	水温	*採捕尾数	平均全長(mm)
4月1日	15.0	12.4	94.5				
4月8日	15.1	9.0	94.0				
4月15日	17.0	12.7	94.0				
4月22日	18.0	29.0	85.0	4月22日	15.2	6.2	78.5
5月2日	18.0	13.0	99.0	4月28日	19.7	0.5	78.5
				5月7日	19.0	3.3	98.1
				5月14日	19.8	7.5	88.0
				5月21日	21.0	14.0	81.1

*投網 1 人 1 時間あたりに換算した採捕尾数

近県の状況 (5/2 現在)

- ・茨城県内の久慈川では 2/23 に堅磐堰（河口から約 8km）で遡上が確認されています

茨城県水産試験場内水面支場

H28 年久慈川・那珂川アユ遡上速報第 1 号

- ・多摩川のガス橋付近では、3/23 から遡上が確認されています。

→4 月 30 日までの累計遡上数：48,647 尾（H27 年同時期：53,204 尾）

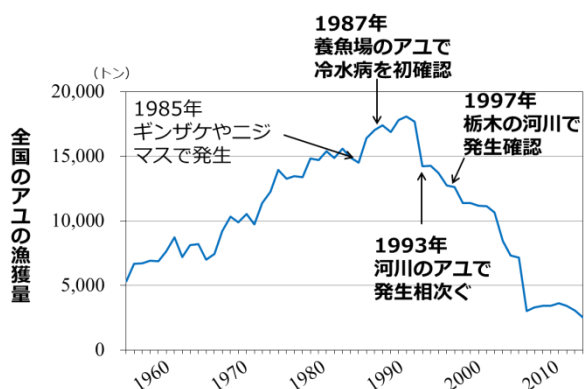
東京都島しょ農林総合研究センター 平成 28 年アユ遡上調査

- ・荒川の秋ヶ瀬取水堰では、4/6 から遡上が確認されています。

→5 月 1 日までの累計遡上数：115,328 尾（H27 年同時期：69,961 尾）

利根導水総合事業所：平成 28 年度の秋ヶ瀬取水堰稚アユ遡上状況

豆知識～冷水病とアユ～



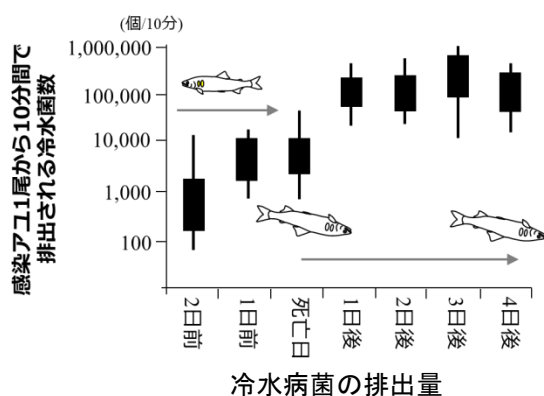
冷水病の発生とアユの漁獲量
(内水面漁業生産統計より作図)

冷水病は、細菌 (*Flavobacterium psychrophilum*)

によるアユの病気で、体表の微細な傷から感染します。この病気にかかったアユは、体表や筋肉中に炎症が起こり、最悪の場合は、そこからの出血によって失血死します。死亡しなくとも、活性の低下によって釣れ具合が低下することから、アユ漁場において大きな問題となっています。

水温 17～19℃が河川で発生しやすい水温（好発水温帯）です。また、冷水菌は水温 23℃以上では増殖できず、水温 28℃以上では死滅することが知られています。

は増殖できず、水温 28℃以上では死滅することが知られています。



冷水病菌の排出量
(大原ほか 2010. を改変)

残年ながら冷水病被害の根本的な解決策は見つかっていません。現状で行われている対策としては、海産系種苗（冷水病に比較的強い）の放流や解禁日を早めることで好発水温帯になるまえに漁獲するなどがあります。また、冷水病に感染したアユは、死亡する 1 日前でも 10 分間に約 1 万個の冷水菌を排出します。おとりアユを他の河川に持ち込まないなど、まん延防止にも注意する必要があります。

連絡先 栃木県水産試験場

電話 0287-98-2888 FAX 0287-98-2885

ホームページアドレス <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g65/ayujyouhou.html>